

## 別添4：タイムカード推奨様式

1. タイムカードの寸法は、付箋と綴じ込みスペースを除いて、縦18cm×横9cmであることが望ましい。
2. 綴じ具は、ページを360度開ける金属製金具を使用すること。
3. 綴じは下側または左側とすること。
4. 各ページの使用方法は以下の通りである。
  - 1) SSを伴わないロードセクション：見本1のカードを使用する。オフィシャルが必要事項を記入した後、1枚目を切り離してオフィシャルが保管し、2枚目は切り離してクルーに渡す。3枚目はそのままタイムカードブックに綴っておく。
  - 2) SSを伴うロードセクション：見本2のカードを使用する。SSスタート手前のTCでは、オフィシャルが下半分のSSスタート予定時刻を含む必要事項を記入した後、競技車両をスタート地点へ移動させる。SSスタートコントロールでは、予定時刻にスタートする場合はその時刻を、スタート時刻に変更があれば実際のスタート時刻を記入する。

SSフィニッシュ後、ストップポイントで必要事項を記入した後、1枚目の下半分（SSフィニッシュ用カード=見本3）を切り離しオフィシャルが保管する。

SSフィニッシュ後のTCでオフィシャルが必要事項を記入した後、1枚目の上半分を切り離してオフィシャルが保管し、2枚目は切り離してクルーに渡す。3枚目はそのままタイムカードブックに綴っておく。
  - 3) 上記の方法によりオフィシャル、クルー双方に控えが保存され、必要なときにそれぞれ参照することができる。
  - 4) 残りのカードを綴ったタイムカードブックは、その後オーガナイザーが回収し、集計のチェックに用いる。
  - 5) 各タイムカードには、記入したオフィシャルが必ず署名または捺印すること。

# ラリー競技開催規定

## 見本1

※控え分を含め3枚がセットになったバックカーボン仕様  
が望ましい。

ABCD		TC#-TC#	
ARRIVAL TIME at TC 到着時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
DUE TIME (Competitor Use) 到着予定時間(選手使用)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
TARGET TIME 目標時間	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
ACTUAL START スタート時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
TIME TAKEN 所要時間	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
CAR NUMBER			
<input type="text"/> STAMP/SIGN 署名			

## 見本2

※見本3を最初のページとし、それを含めた4枚がセットになったバックカーボン仕様が望ましい。

ABCD		TC#-TC#	
ARRIVAL TIME at TC 到着時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
DUE TIME (Competitor Use) 到着予定時間(選手使用)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
TARGET TIME 目標時間	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
ACTUAL START スタート時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
TIME TAKEN 所要時間	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="button"/>
Road Section			
SS		CAR NUMBER	
FINISH TIME フィニッシュ時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分) <input type="text"/> Sec(秒)	<input type="text"/> 1/10	<input type="button"/>
ACTUAL START スタート時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> SS#	<input type="button"/>
TIME TAKEN 所要時間	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> STOP	<input type="button"/>
Provisional Start Time スタート予定時間	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> STAMP/SIGN	<input type="button"/>
Arrival Time at TC 到着時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)	<input type="text"/> 署名	<input type="button"/>
<input type="text"/> STAMP/SIGN 署名			

・バックカーボン紙の場合は、薄手の用紙を使用し、明瞭な字でカーボンコピーされるようとする。

・各控えごとに用紙の色を変えることが望ましい。

例) SS無しの一般TC綴り

1枚目:黄色

2枚目:ピンク色

3枚目:白色

例) SS付きTC綴り

1枚目(下半分):白色

2枚目:黄色

3枚目:ピンク色

4枚目:白色

・バックカーボン紙の場合は、厚手の表紙を下敷き状に折り込めるような形状にする、または綴りごとに厚紙を入れるなどして、次のTCのセットへカーボンが写らないような配慮をすることが望ましい。

## 見本3

SS	CAR NUMBER
FINISH TIME フィニッシュ時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分) <input type="text"/> Sec(秒)
ACTUAL START スタート時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)
TIME TAKEN 所要時間	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)
Provisional Start Time スタート予定時間	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)
Arrival Time at TC 到着時間(実際)	<input type="text"/> Hr(時) <input type="text"/> Min(分)
STAMP/SIGN 署名	

## 別添5：スペシャルステージラリーに適用される罰則

分類	対象となる参加者の行為	適用される罰則	タイムペナルティの詳細
競技全般	競技中にクルーまたは車両を変更したとき	失格	
	リタイヤの申告をせず競技から離脱したとき		
	クルーのうち1名が競技から離脱した場合		
	著しく車体、保安部品または排気系を破損しておりオーガナイザーから競技の離脱を勧告されているにもかかわらず続行した場合		
	タイムカードを改ざんした場合		
	クルーまたは関係者間で不正行為があった場合		
	サービスパーク以外の場所でクルー以外の者から車両の整備、修理を受けた場合、また、燃料補給指定場所以外で燃料補給を受けた場合		競技会審査委員会の裁定により失格を上限とする罰則が適用される。
	タイヤの本数または仕様制限に関する違反もしくはタイヤ交換に関する違反があった場合		
	車両規則違反が発見されたとき。		
	参加者またはクルーがブリーフィングに遅刻または欠席したとき	競技会審査委員会の裁定により失格を上限とする罰則が適用される。	
	タイムカードに時刻が記入されていない場合（スペシャルステージのスタート／フィニッシュ時刻を除く）		
	競技中にクルー以外の第3者を競技車両に乗せた場合（負傷者を搬送する場合を除く）		
	定められたラリー行程から逸脱した場合（競技会審査委員会が不可抗力と認めた場合を除く）		
	サービスパーク内で30km/hを超えて走行した場合、またはパーク内のものに不安や危険を与える走行をした場合		
	サービスパーク以外で車両を牽引または運搬した場合、あるいはクルー以外の第3者が競技車両を押して移動させた場合（安全上やむを得ない場合を除く）		
	道路交通法に違反したり、対人あるいは対物事故を起こしたとき。		
	競技役員の重要な指示に従わなかったとき		
	レッキ時を含め、走行マナーおよび競技者としての態度、品行、言動に問題がある場合、またはスポーツマンシップに反する場合		
	競技会期間中、オーガナイザーから指示された時刻や時間制限に従わなかった場合		
	本表に記載されている事項以外で、オーガナイザーから罰則適用の提案があり、競技会審査委員会により当該案件が国内競技規則11に基づく罰則の対象となると判断された場合		

## ラリー競技開催規定

分類	対象となる参加者の行為	適用される罰則	タイムペナルティの詳細
車両検査	定められた時刻にスタート前の車両検査を受けなかった場合（競技会審査委員会が不可抗力と認めた場合を除く）	スタートが認められない。	
	スタート前の車両検査において規則に適合していないと判断された場合	スタートが認められない。 (ただし、競技会審査委員会は、規則に合致させるための限られた修復時間を与えることができる。)	
	参加者が特別規則書に定められた必要書類を持参しなかったことにより車両検査委員会が当該車両の適格性について確認できなかった場合	競技会審査委員会の裁定によりスタートの拒否を上限とする罰則が適用されることがある。	
	競技車両またはその構成部品に施されたマーキングや封印等に手が加えられたり、それらが失われたりした場合	失格	
コントロール	指示された順序に従い、かつ競技ルートの進行方向に沿ってチェックインしなかった場合	失格	
	コントロールの責任者の指示に従わない場合	競技会審査委員会の裁定により失格を上限とする罰則が適用されることがある。	
	クルー側の原因でスタートまたは再スタート地点への到着が目標スタート時刻より遅れた場合	タイムペナルティ ただし、15分を超える遅着はスタートが認められない。	1分につき10秒
	目標チェックイン時刻への15分以内の遅着	タイムペナルティ	1分につき1分
	目標チェックイン時刻への早着	タイムペナルティ	
	コントロールの手順に従わない場合	競技会審査委員会の裁定により失格を上限とする罰則が適用される	
	競技車両が目標チェックイン時刻の1分前より早くコントロールエリアに進入した場合	失格	
	各タイムコントロールの目標チェックイン時刻に対し15分を超えて遅着した場合	失格 (ただし、競技会審査委員会は、競技長の提案があれば失格となる基準時間を延長することができる。これらの失格は、その場合、該当するクルーには速やかに通知される。)	

ラリー競技開催規定

分類	対象となる参加者の行為	適用される罰則	タイムペナルティの詳細
スペシャルステージ	クルーまたは競技車両に起因して自己のスタートが遅れた場合	タイムペナルティ	1分の遅れにつき 1分
	スタートの合図が出されてから20秒以内にスタートできない場合	失格	
	スペシャルステージを逆走した場合		
	フィニッシュにおいて黄色地の予告標識からSTOP標識までの間で停車した場合	失格（ただし、競技会審査委員会は、競技長の提案があれば失格となる基準時間を延長することができる。その場合、該当するクルーには速やかに通知される。）	
	オーガナイザーが定めた基準所要時間から15分を超えてフィニッシュした場合（超過時間の算出は分単位（分未満切り上げ）とする。）		
	反則スタート（スタート合図よりも先に車両が前進した場合）	3回目までの違反： 右のタイムペナルティが課される。  4回目以降の違反： 競技会審査委員会の裁定により失格を上限とする罰則が適用される。	最初の違反：10秒 2回目の違反：1分 3回目の違反：3分 (ただし、競技会審査委員会が必要と判断した場合はさらに重いタイムペナルティが課されることがある。)
	指示されたスタート時刻またはスタート位置に従わない場合	競技会審査委員会の裁定により失格を上限とする罰則が適用される。 (ただし、右のタイムペナルティを下限とする。)	10分
	クルーの過失によりスペシャルステージのスタート／フィニッシュ時刻が記入できない場合	スタート時刻の場合：失格 フィニッシュ時刻の場合：タイムペナルティ	5分
	スペシャルステージにおいて何らかの援助を受けた場合	競技会審査委員会の裁定により失格を上限とする罰則が適用されることがある。	
	スペシャルステージでの停車時に、負傷者がいないにも関わらずロードブックのOKページを後続車等に提示しなかった場合	競技会審査委員会の裁定により罰金（場合によつてはその他の罰則）が課されることがある。	

## ラリー競技開催規定

分類	対象となる参加者の行為	適用される罰則	タイムペナルティの詳細
セクション／ ディ	各セクションもしくは各ディのいずれかの終了時点においてタイムコントロールへの遅着時間およびスペシャルステージの基準所要時間からの超過時間が合計30分を超えた場合、または競技会全体を通じてこれらの遅着時間および超過時間が合計60分を超えた場合（上記の累計遅着時間は、ペナルティタイムではなく実際の遅着時間を合計して算出する。いかなる場合も遅着時間と早期時間の差し引きは行われず、それぞれが独立してタイムペナルティの対象となる。従って、遅着時間の合計に早着時間は含まれない。）	失格 (ただし、競技会審査委員会は、競技長の提案があれば失格となる基準時間を延長することができる。その場合、該当するクルーには速やかに通知される。)	
バルクフェル メ	バルクフェルメにおいて整備、修理、燃料補給等の作業を行った場合、またはボンネットを開けた場合	競技会審査委員会の裁定により失格を上限とする罰則が適用される。	
	特例としてウインドウ交換を実施したことにより予定時刻通りバルクフェルメを退出できなかった場合	タイムペナルティ	1分の遅れにつき1分
	特例としてウインドウ交換を実施するにあたり、車体またはロールバーの修復作業を行った場合 破損車両を公道走行可能な状態に戻すための作業を実施した場合	タイムペナルティ	作業時間1分につき1分 および退出の遅れ1分につき1分

※失格については、それが発生したセクションまたはディの終了時点で、公式通知および競技結果（ディ別順位結果または暫定最終結果）をもって発表されなければならない。なお、審査委員会が失格を判定する際には、競技役員の報告のみに基づくのではなく、当事者を審査委員会に召喚して説明の機会を与えた後に決定しなければならない。